

◆ ケアマネジャーのための情報誌 ◆

ケアマネ SAPPORO

2004.4.1 発行

発行

札幌市介護支援専門員連絡協議会

事務局

札幌市社会福祉協議会地域ケア推進部

札幌市中央区大通西19丁目

札幌市社会福祉総合センター内

TEL 011-612-6110

FAX 011-613-5486

第27号

04年度を迎えて「ケアマネジャーの努力を評価しよう」

札幌市介護支援専門員連絡協議会会長 奥田 龍人

早いもので、先日会長職を(いやいや)引き受けたばかりかと思っておりましたが、もう一年立ってしまいました。この間、毎月の訪問とか3ヵ月ごとのモニタリングとか目まぐるしくケアマネジャーの置かれている状況が変わりましたね。しかし、自立に結びつくケアプランをと脅迫(?)されているわりには、どういものが自立に結びつくケアプランかという本質論議はあまりなかったように思います。

先日、北海道社会福祉士会の自立促進モデルケアプラン事業(自立支援に結びついたケースを聞き取りケアマネジャーの関わりを評価し事例集を作成するという事業)の担当で倶知安町に行きました。二件目に回った事業所のケアマネジャーが元気がないので理由を聞くと、「支庁の現任研修で、指定取り消しになった例や介護支援専門員の免許を剥奪された例を引き合いに出し事細かにいろいろと指導され、ケアマネをやっていく自信がなくなってきたところでした。」と語ってくれました。ケアマネジャーにとってペー션을高めるべき現任研修で逆に締め付けるとは、とあきれましたが、道や市町村は介護保険が適正に運営されているか、かなり神経を尖らせていることが見てとれます。

確かに、介護保険での規制緩和により悪徳な事業者が居宅介護支援事業所を巻き込んで食いつないでいこうとしていますし、公表されている指定取り消し事例には信じられない内容が多くあるのも事実。そんなのと一緒にされたくないな、と皆さん思っているでしょうが、介護という分野は医療(治療)と違ってサービスの必要性を客観的に判断する手法がないがゆえ、給付費の請求の分析だけでは適正かどうか分からないという問題があります。そこで、不適切な事例を引き合いに出し締め付けるという方法を取るのでしょうか。来年度からは、国保連への請求データが市町村で簡単に分析できるようになりますし、また、要支援者等への家事支援は必要ないのではないかとというところでもない議論も深まってきています。

こうしたケアマネジャーいじめに現場から物申すには、なにより自立支援(本人または家族の)に結びつくケア

プランを実行し、そうした事例を多く持つことです。また、それこそがケアマネジャーの醍醐味でもありましょう。前述のケアマネジャーは、綿密に関わった事例を紹介してくださいました。その利用者がようやくデイサービスに行ったらしばらくぶりに入浴して「さっぱりした」といってくれたとき、胸に込み上げてくるものがあつたそうです。そこにいたる過程こそケアマネジャーの勲章でしょう。

この事業で各地を回って判ったことは、ケアマネジャーが本当に奮闘している実態です。自立支援に結びついた事例もたくさんありました。しかし悲しいことには、ケアマネジャーがサービス事業者とタッグを組んでよくなった事例のほとんどが、短期目標やケア内容として意図的に記載されていないということです。さらにはそれらよくなった事例がケアマネジャーの取り組みの評価として関係者などに知られていないということです。これらを克服するためには、ケアプラン作成の研修をさらに充実することと、自立支援に結びついた事例をどんどん発表し、共有化することが必要です。つまり「学会」のようなものが必要となってきている時期でしょう。厚生労働省や社会保障審議会介護保険部会はケアマネジャーについてかなり厳しい論議をしていますが、そうであるが故に私たちケアマネジャーは「沈黙する羊」ではあってはいけないのではないのでしょうか。全国介護支援専門員連絡協議会の木村会長が介護保険部会の委員として意見を述べられるようになったことは一つの前進と思います。早速、「ケアマネジャーの担当を30名とし、かつ赤字運営にならない報酬を」と意見具申ししてくれました。しかし、それにもケアマネジャーが日ごろ果たしている役割の検証が必要となります。

当会も、今年度発足5年目の節目を迎え、それを機会に研究発表大会を企画していますし、会員の研究事業への助成金も大幅に増やしました。日ごろのケアマネジメントの成果を大いに語り合い、共有しようではありませんか。それなくしてケアマネジャーの明日はないと思っています。ケアマネジャーの努力が評価されるように頑張りたいと思います。

札幌市からの情報提供

介護給付適正化対策事業と札幌市の取組について

介護保険制度は全体として順調に定着してきておりますが、一方では、提供されるサービスについて要介護状態の改善や自立支援になっているのか、疑問がもたれるようなサービスの提供・利用事例が少なくないと言われております。具体的には、適切なニーズアセスメントがなされていないため、課題に対応したケア内容等が検討されずに必要なサービスが提供されていなかったり、事業者の都合でケアプランが立てられているなどケアプランの策定プロセスに問題のある事例や、要支援者に対して生活自立能力を引き出すことなく漫然と繰り返される家事援助の実態など、ケアプランが自立支援に資さない事例が散見されてきております。

また、全国・道内におきましても重大な人員・運営基準違反に伴う不正受給の事例があり、居宅サービス事業所および介護保険施設の指定取消しに至るような事例も発生していることは周知のことかと思っております。

不適切なサービス利用は利用者本人のためにならないばかりでなく、介護給付の不必要な増加・サービスの質の低下につながるという指摘は、介護保険制度の主要施策にも挙げられているところです。

このような状況から、厚生労働省は平成15年度より市町村における介護給付適正化対策を推進するため、「介護給付に係る適正化対策特別事業費」として70億円を計上したことから、全国都道府県や市町村の中には要介護認定、ケアプラン作成、介護報酬請求、介護サービス利用など介護保険に関する様々な分野において総合的に対策を講じる動きが出始めています。

札幌市といたしましても、限られた財源の中で介護を必要とする高齢者に対して、適切かつ良質なサービスが提供されることを確保するために、「不必要な給付の防止」と「サービスの質の向上」という両面の適正化を目的として、15年度から本事業に着手したところです。

15年度は、過去の給付実績データを基に、介護給付

請求内容や運営基準について確認を要する事業所を抽出し、特定した対象事業所には、関係書類の提出・照会に対応していただき、適正な給付になっているかどうか、自立支援の実効性が保たれているケアプラン作成がなされているかどうかなどの確認作業に取り組んでおります。

平成16年度には、国民健康保険中央会において新しく開発されるシステム（「国保連合会介護給付適正化システム」）の稼働開始に伴って、①更新認定及び区分変更がなされた被保険者の状況把握、②居宅介護支援事業所の状況、③サービス提供事業所の状況、④居宅介護支援事業所とサービス事業所の関係、⑤給付が急増した事業所の状況など多角的なデータが把握できる予定です。例えば、サービス利用者の要介護度がどのように変化したかを、サービス利用状況と併せて抽出することができます。また、ケアプランに盛り込まれたサービス種類に偏りのあるケアプランを作成している割合が高い事業所や、ケアプラン作成費の減算請求が続いている事業所を抽出することもできます。

このように、全国的にどのような事業者が、どのような利用者に、どのような給付をしているかという汎用性の高い情報を活用することによって、適正化を対象とする事業者等の特定後、対象事業者等の給付実績のデータを簡易的に抽出・分析することが可能になります。また、苦情相談内容につきましても、新しい適正化システムと有機的に連携させて、有効な適正化対策へ繋げていくことができると考えております。皆様の日常の業務において疑問・不適切なサービス行為が行われている等の情報がありましたら、本市に情報提供をしていただければと思います。

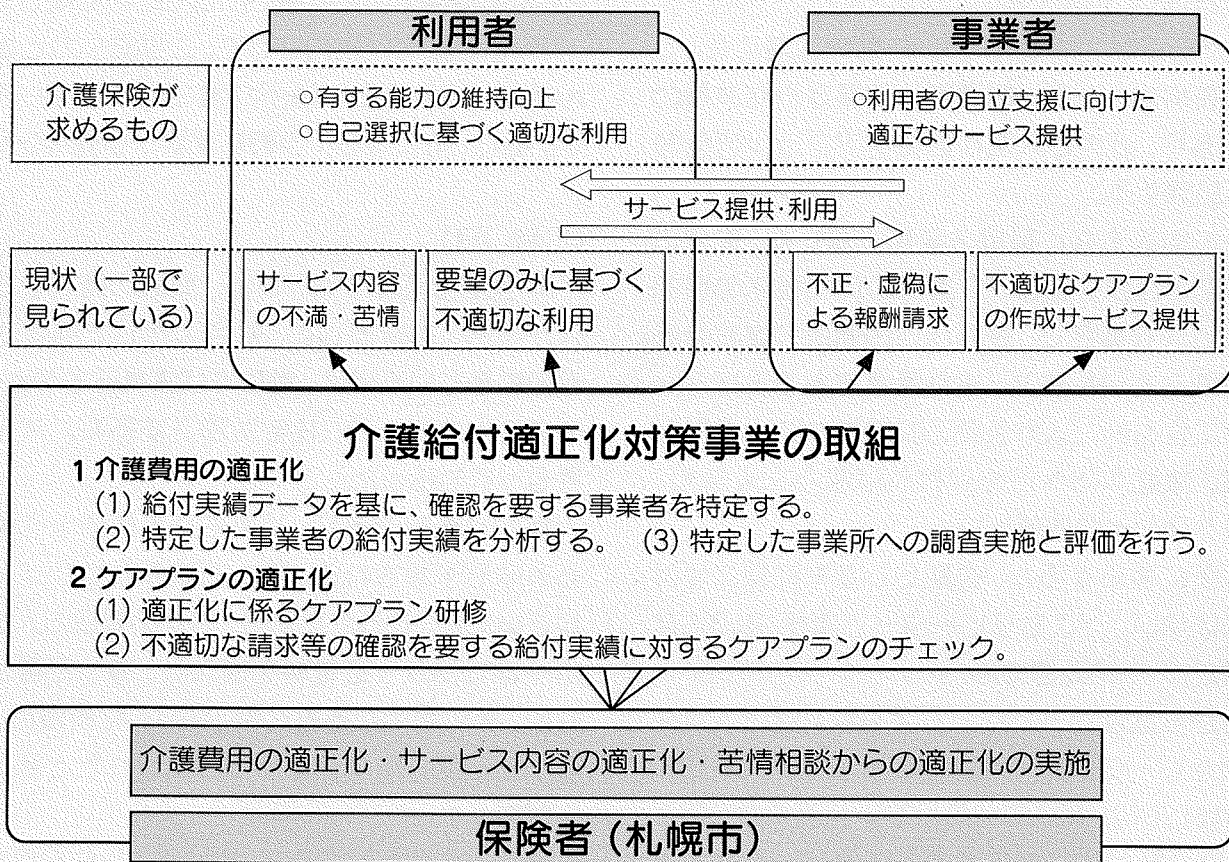
介護給付適正化対策事業は、人員・設備基準等の情報を総合的に勘案することとなるので、本市は、北海道及び石狩支庁とも連携を図りながら取り組んでいく予定です。

札幌市の介護給付適正化対策事業について

【目標】制度の安定的運営

【目的】①制度運営の効率化、②介護給付費用の適正化、③サービスの質の向上

【観点】①費用が適正であるか ②自立支援を目指したケアプランであるか
③介護サービスが真に所期の効果を挙げているか



研修情報

MDS-HC方式による居宅サービス計画フォローアップ研修

平成15年度実務研修から、課題分析手法（アセスメントツール）に関する詳しい講義がなくなったことを受け、当会ではMDS-HC方式による課題分析について、下記のとおりフォローアップ研修を実施することになりました。研修では、MDS-HC方式による課題分析のほかにも、「ポジティブケアプラン」や「ICF」の考え方を取り入れた居宅サービス計画の立て

方についても学習します。

今年度の実務研修を受講されている方だけでなく、「新しく移った職場では、MDS-HCを使用していた」「昨年実務研修を受講したが、アセスメント手法について最初から学習したい」などという方も対象です。受講希望の方は、下記でお申し込みください。

《日 程》平成16年4月24日（土）10:00～17:00（受付は9:30から）

《プログラム》10:00～11:00/講義
11:00～17:00/事例演習
（アセスメント・居宅サービス計画・モニタリング）

《会 場》北農健保会館
（住所/札幌市中央区北4条西7丁目 TEL/011-261-3270）

《受講料》1人5,000円（テキスト代別）

《テキスト》研修ではテキスト『日本版MDS-HC2.0在宅ケアアセスメントマニュアル』（1999年医学書院 税別¥2,600）を使用します。既にお持ちの方は当日ご持参ください。お持ちでない方は、各自でご購入いただくか、当日会場にて販売いたします

ので、申込書にてご注文ください。

（当日販売では消費税分をサービスいたします。）

《講 師》社団法人北海道総合研究調査会 五十嵐 智嘉子
ヘルパーステーションアムニティ西岡 伊勢 智美

《締切り》平成16年4月16日（金）まで

《申し込み・お問合わせ》

インターライ日本委員会 事務局 【担当:寺下、五十嵐】
〒060-0004

札幌市中央区北4条西6丁目 毎日札幌会館3階 HIT内
TEL 011-222-3676 FAX 011-222-4105

ケアマネ 日誌 ⑬

手稲区
支部長 小野 シズ子
(札幌手稲ケアプラン
相談センター所長)

【〇月〇日】

K市から今まで介護していた娘の入院に伴い、札幌の長男宅へ転居。脳梗塞の後遺症や糖尿病の持病があり、近医で入院検査後ケアプランの依頼があり訪問する。

近所に知人もなく環境の変化も著しく、痴呆の悪化予防、社会的交流、介護者の負担軽減の目的でサービスを調整し、今週からの通所介護開始を目前に控えていた矢先、主介護者であるお嫁さんの本州に住む姉二人が突然の交通事故による訃報と入院。急遽本州へ行かなければならなくなり、ショートステイの依頼あり。

数ヶ所に連絡するが、長期でしかも初回の受け入れ先はない。どこもリピーターで満杯。2、3泊なら可能だが…の返答のみ。

自宅からは遠かったが夕方ようやく受け入れ先が見つかり一安心。一週間目にショート先を訪れると「寂しいよ、K市に帰りたい」と涙ぐむ。こんな時、緊急時対応できる場所があればいいのにと。仙台市では、行政との話し合いにより迅速に対応できる体制の整備ができており、居室が空いている期間は行政が費用を負担しているとの話を聞き、札幌としても考える必要を痛感した。

【〇月〇日】

Y町から当事業所を訪れた一人の美しい知的な女性。札幌の兄夫婦宅に同居している母親の元を訪れた帰りの足で相談に来たとのこと。

母親の痴呆がひどくなり、兄のいらだちも強くなり双方の関係が悪くなりつつある。自分は毎日電話をしたり、月に1回は母親を誘い買物やあちこちに連れて行っている。嫁さんも一所懸命に介護してくれているから、自分は口を出せないと不安顔。

私は、彼女の友人の知人で、しかもケアマネジャーという事にして、介護保険の説明と施設見学をすすめ、通所介護を開始。通所後、表情は明るくなり、持前の世話好きを発揮し、通所介護では、寂しそうにしている人に声をかけ、ムードメーカーになっていると事業所からの報告を受け、私も嬉しくなる。

2月は自分の誕生日なので、毎回誕生会と思い込んでおしゃれをして通所介護の迎えを楽しみにしていると、モニタリング時に家族から報告を受けた。

【〇月〇日】

40代でリウマチのYさん。関節の痛みをこらえながらも、主婦として、社会人として必死で前向きに生きている姿は、常に学ばされるものがある。体の変形も強まり、住宅改修をする為に業者に見積もってもらった。

かなり高額であり、将来もっと改修を必要とする事態も予想される。本人も決断がつかず保留にしていた。ところがある日、彼女の親戚の人が来て、ホームセンターで材料を購入し、あつと言う間に完成。その費用たるもの数分の1。材料費は、住宅改修で申請し無事口座に振り込まれたと喜んで報告があった。

病状の進行する疾患の住宅改修には悩む事が多い。20万円の枠を将来も見据えて、どのような配分で使うのが本人及び家族にとって良いのかを…。

【〇月△日】

ケアマネの仕事は、しんどい。利用者と話したりマネジメントする事に苦痛はない。経過記録、3ヶ月に1回の評価記録、サービス調整会議の開催、メモはあるが記録の整理ができない。利用者の状態の変化に呼応し、ケアプランの修正をしなければならぬ事を思いつつ、目前の調整事、業務に追われている。そして配食サービスも…。記録、記録と迫られている。記録のすばらしい事がよいケアマネジャーの要件かと居直ったりしている日々である。

札幌市介護支援専門員連絡協議会役員

(任期:平成15年4月1日~17年3月31日)

役職	氏名	所属
会長	奥田 龍人	西門山病院在宅ケアセンター
副会長	松家 治道	松家内科小児科
	斎藤 潤子	札幌厚別ケアプラン相談センター
事務局長	柏 浩文	札幌市社会福祉協議会地域ケア推進部
監事	葛西 正枝	札幌市保健福祉局介護保険課
	松本 剛一	特別養護老人ホーム緑愛園
【区支部長】		
中央区	菊地 一郎	居宅介護支援事業所西門山敬樹園
北区	竹林 克重	長生会病院
東区	手塚 弘志	指定居宅介護支援事業所 モエシ・ケアマネセンター
白石区	山崎加代子	ケアプランセンターはばたき
厚別区	義達奈生美	指定居宅介護支援事業所 ディ・グリュネン
豊平区	熊谷 英樹	介護老人保健施設アメニティ西岡
清田区	広岡 篤美	介護相談センターきよた
南区	由井 康博	愛全会総合相談窓口ケアプランセンター
西区	乙坂 友広	五天山園居宅介護支援事業所
手稲区	小野シズ子	札幌手稲ケアプラン相談センター

平成16年度 予算

【収入】

項目	金額	内訳
会費	2,700,000円	3,000円×900名
参加料収入	1,900,000円	受験対策講座 @10,000円×100名 研究大会 @ 3,000円×300名
繰越金	3,922,364円	
合計	8,522,364円	

【支出】

項目	金額	内訳
会議費	228,000円	交通費 @1,000円×14名×6回 お弁当 @1,500円×16名×6回
講師謝礼	500,000円	研究大会等講師謝礼、執筆謝礼
通信費	1,080,000円	広報誌の発送 @200円×900名×6回
印刷製本費	900,000円	広報誌の作成 @150,000円×6回
会場費	500,000円	研究大会等
支部配分金	2,000,000円	@200,000円×10区(通信費、講師謝礼等)
道負担金	100,000円	北海道ケアマネジャー連絡協議会負担金
調査研究助成費	1,500,000円	@300,000円×5名
研究誌作成費	500,000円	@500円×1,000名
視察交流費	500,000円	@100,000円×5名
事務局費	214,364円	領収書、ラベル、切手等
予備費	500,000円	
合計	8,522,364円	

平成16年度 基本方針

市民の市民による市民のための介護文化の創造を目指し、次の3つの活動指針とする。

1. 市民に見える事業展開を図る

介護支援専門員は、どのような役割をもち、どのようなことをするのか、市民が理解しているとはいえない状況下にある。

利用者による選択と決定を前提とした介護保険には、成熟した市民社会の構築とそれを支える介護支援専門員の具体的な事業展開が求められる。

2. 専門性の追求を図る

介護支援専門員自らがケアマネジメントなどに関する調査研究を行うことで、専門性を追求し、ケアマネジメントの確立を図る。

3. 介護支援専門員間の共通基盤を探り、これを構築する

多職種を受験資格とした介護支援専門員の土俵は「地域」といえる。地域を意識した区支部単位の積極的な活動が求められる。

平成16年度 事業計画

★は新規事業

1. ケアマネさっぽろの発行(年6回)

2. 区支部事業の推進

定例会(情報交換及び学習会)1ヶ月及び2ヶ月に1回
*市民向けのイベントを年1回行う。

役員会(必要の都度)

3. ケアマネジメント基礎講座の開催(年1回)

10月30日(土)センター視聴覚室

新任の介護支援専門員を対象にケアマネジメントの知識や技術を深めるために開催する。

4. 介護支援専門員受験対策講座の開催(年1回)

10月2日(土)・3日(日)センター大研修室

★5. 市民向け講座の開催(年1回)

9月17日(金)センター大研修室

市民の方々に介護支援専門員の役割を理解し、お互いに意見交流することを目的に開催する。

6. 全体研修会の開催(年2回)

介護支援専門員が日常業務に役立つ研修や会員からの要望の多い対象者理解、相談援助技術、地域ケア、施設のケアマネジメント等をテーマに研修会を開催する。

★7. 調査研究助成の実施及び研究誌の発行

会員が自主的に実施する調査研究に対して助成し、研究誌を発行する。

★8. 研究大会(5周年記念大会)の開催(年1回)

11月~12月 未定

本会会員が年1回集い、資質向上を図るため、研究大会を開催する。

9. 視察及び他のケアマネ連協との交流の実施(年1回)

全国の先進的なケアマネサポートセンター等の視察や他の政令指定都市等とのケアマネ連協との交流を深めるため実施する。

10. 各種委員会及び講演会等への会員の派遣

11. 役員会の開催(年6回)

12. 代議員会の開催(年1回)

13. 会員の募集及び会費の徴収

平成15年度 事業報告

【広 報】

情報誌「ケアマネSAPPORO」の発行

4月1日 第21号 1,100部発行 10月1日 第24号 1,200部発行
 6月1日 第22号 1,200部発行 12月1日 第25号 1,200部発行
 8月1日 第23号 1,200部発行 2月1日 第26号 1,200部発行

【研 修】

①ケアマネジメント研修会の開催

4月17日 参加者134名

《内容》

実践報告「利用者に渡すケアプランの作成方法」

札幌中央ケアプラン相談センター所長 土井 正子 氏
 慈啓会介護総合相談センター介護支援専門員 川島 志緒里 氏

実践報告「訪問、担当者会議、モニタリングの実施方法」

西円山病院在宅ケアセンター次長 奥田 龍人 氏
 ケアプランセンターはばたき所長 山崎 加代子 氏

②全体研修会の開催 6月19日 参加者50名

《内容》

講演 「消費者問題(訪問販売、悪徳商法等)について」

司法書士 佐藤 正人 氏

講演 「遺産相続と遺言書の作成について」

司法書士 廣田 敏之 氏

③介護支援専門員受験対策講座の開催

10月4日～5日 参加者212名

《内容》

講義 「居宅介護支援と居宅サービス」

ケアプランセンターはばたき所長 山崎 加代子 氏

講義 「介護保険制度と介護支援」

西円山病院在宅ケアセンター次長 奥田 龍人 氏

講義 「高齢者保健医療の基礎知識」

札幌厚別ケアプラン相談センター所長 斉藤 潤子 氏

講義 「介護保険施設と高齢者福祉の基礎知識」

特別養護老人ホーム緑愛園施設長 松本 剛一 氏

④ケアマネジメント基礎講座の開催

11月1日 参加者49名

《内容》

講義 「ケアマネジャーの業務と役割について」

札幌市保健福祉局介護保険課
 ケアマネジメント担当係長 葛西 正枝 氏

講義 「アセスメント、担当者会議、モニタリングの方法について」

西円山病院在宅ケアセンター次長 奥田 龍人 氏

講義 「ケアプラン作成と給付管理の実際について」

札幌厚別ケアプラン相談センター所長 斉藤 潤子 氏

【組 織】

役員会等の開催

4月10日	第1回役員会	10月10日	第4回役員会
6月12日	第2回役員会	12月18日	第5回役員会
7月24日	仙台市ケアマネジ ～25日	1月22日	三役・監事会
	ャー支援センター、 せんだんの社の視 察及びケアマネネ ットせんだい等と の交流(奥田、斎藤、 手塚、山崎、由井参加)	2月13日	第6回役員会
		2月25日	札幌市医師会との 懇談会への出席(奥 田、斎藤、柏、葛西、 松本、山崎出席)
8月 7日	第3回役員会	3月29日	代議員会

平成15年度 決算

【収入】

項 目	予算額	決算額	比較増減	備 考
会 費	2,250,000円	2,682,000円	432,000円	3,000円×894
参加料収入	1,000,000円	2,069,000円	1,069,000円	10,000円×190名 5,000円×22名 1,000円×59名
繰 越 金	2,824,439円	2,824,439円	0円	前年度繰越金
雑 収 入	0円	3,241円	3,241円	預金利息、書籍販売
合 計	6,074,439円	7,578,680円	1,504,241円	

【支出】

項 目	予算額	決算額	比較増減	備 考
会 議 費	144,000円	124,500円	19,500円	お弁当等
講 師 謝 礼	300,000円	260,840円	39,160円	受験対策、執筆代
通 信 費	900,000円	870,180円	29,820円	広報誌等発送
印刷製本費	900,000円	777,000円	123,000円	広報誌
会 場 費	300,000円	0円	300,000円	研修会等
支部配分金	1,500,000円	1,095,040円	404,960円	講師謝礼等
道負担金	100,000円	100,000円	0円	
調査研究助成費	500,000円	0円	500,000円	
視察交流費	500,000円	313,000円	187,000円	仙台市社協等視察
事務局費	230,439円	100,076円	130,363円	領収書、ラベル等
予 備 費	700,000円	15,680円	684,320円	香典、手数料等
合 計	6,074,439円	3,656,316円	2,418,123円	

(収入)7,578,680円-(支出)3,656,316円=3,922,364円
 (＜次年度繰越)

区支部活動の報告

***** 中央区支部 *****

4月21日 総会と研修会「介護報酬の改定について」
 札幌市保健福祉局介護保険課
 ケアマネジメント担当係長 葛西 正枝 氏

6月16日 介護保険と生活保護との関わり

8月18日 コミュニケーション技術を見直す
 北海道医療大学
 看護福祉学部助教授 佐久間 えりか 氏

10月20日 モニタリングとアセスメント
 -効果的に実施するために-(座談会)

12月15日 居宅介護支援事業所評価基準の活用方法について
 北海道介護保険課主査 佐藤 修子 氏

2月17日 ICFからケアマネジャー業務を考える
 はるにれ在宅支援部長 吉谷 敬 氏

6月18日 グループホームの現状と課題(1)
 グループホームもえれのお家総合施設長 長井 卷子 氏

7月16日 グループホームの現状と課題(2)
 グループホームもえれのお家総合施設長 長井 卷子 氏

9月17日 社会資源の活用と課題、生活保護と介護保険

10月15日 利用者は自分の人生の主人公になれるか
 -障がい者ケアマネジメント、
 支援費制度、新しいサポート-
 中央サポートセンターい〜ない〜ず室長 大久保 薫 氏

11月19日 政策動向と介護タクシー
 北星学園大学社会福祉学部助教授 島津 淳 氏

1月21日 ケアマネと在宅介護支援センター

2月18日 福祉オンブズマンの取り組みについて

3月24日 「介護保険制度」新年度の展望について

***** 北区支部 *****

4月16日 総会と介護報酬改定の勉強会
 5月21日 事例検討

***** 東区支部 *****

5月21日 総会と研修会「運営基準改訂後の取り組み」
 西円山病院在宅ケアセンター次長 奥田 龍人 氏

- 7月16日 不適切なケアプランをなくすために
北海道総合調査研究会常務理事・企画室長 五十嵐 智嘉子 氏
- 10月23日 気をつけよう悪徳商法—最近の事例から—
札幌消費者協会消費生活指導員 島谷 裕子 氏
- 11月19日 スーパービジョンの理論と展開
北星学園大学社会福祉学部助教授 高橋 学 氏
- 1月17日 市民公開講座「悪徳商法について」
- 2月19日 実地指導について
石狩支庁社会福祉課介護保険係長 西澤 靖宏 氏

.....白石区支部.....

- 5月15日 総会と研修会
「特別養護老人ホーム入所基準の見直しについて」
- 7月10日 モニタリングの工夫について
北海道総合調査研究会
常務理事・企画室長 五十嵐 智嘉子 氏
- 9月16日 施設ケアマネと居宅ケアマネとの連携について
- 11月14日 支援費制度の現状について
- 1月22日 介護タクシーの現状と今後
- 3月13日 市民公開講座
「痴呆について考えよう
—地域で支え合うグループホーム—」
グループホーム福寿荘総合施設長 武田 純子 氏

.....厚別区支部.....

- 4月15日 総会と研修「運営基準の改訂等に伴う
居宅介護支援事業所の運営について」
西円山病院在宅ケアセンター次長 奥田 龍人 氏
- 5月13日 新会員歓迎交流会
- 6月10日 事例検討
- 7月 8日 特別養護老人ホーム入所判定基準の取扱いの現状
特別養護老人ホーム厚別栄和荘施設長 瀬戸 雅嗣 氏
- 8月12日 各サービス事業所との交流会
- 9月20日 市民公開講座
「ケアプランを作ってみよう
—快適な老後を築くために—」
NPO法人シーズネット理事長 岩見 太市 氏
- 10月14日 保護課の役割—介護保険対象者への
ケアマネジャーとの連携に焦点をあてて—
- 11月11日 事例検討
- 12月 9日 介護保険外の保険福祉サービスについて
- 月13日 事例検討
- 2月10日 ケアマネジャーに期待するもの
北海道医療大学看護福祉学部教授 石川 秀也 氏
- 3月 9日 自己評価について

.....豊平区支部.....

- 5月20日 総会・研修会「支援費制度について」
- 6月17日 介護報酬の改定に伴う算定の考え方について
石狩支庁社会福祉課介護保険係長 西澤 靖宏 氏
- 7月22日 サービス担当者会議の開き方
北星学園大学社会福祉学部助教授 高橋 学 氏
- 8月 2日 市民公開講座
「あれっ、ぼけたかな？そのとき家族は
—痴呆について正しい理解を深めましょう—」
札幌市精神保健福祉センター所長 筑島 健 氏
- 9月16日 介護報酬改定後、半年経って(ディスカッション)
- 10月21日 精神疾患をもつ人の在宅支援
ディケアクリニックほっとステーション
精神科医師 長谷川 直実 氏
- 11月18日 ケアマネって何(ディスカッション)
- 12月16日 北欧視察報告
五合庵社会福祉士事務所代表理事 筒井 久司 氏

- 1月20日 在宅死からの考える地域ネットワーク
- 2月17日 不適切事例について考える
西円山病院在宅ケアセンター次長 奥田 龍人 氏
- 3月17日 ホスピスのこころと看取りの文化
南青洲病院院長 前野 宏 氏

.....清田区支部.....

- 5月21日 総会と研修会「ケアマネジメント活動支援事業について」
- 7月16日 適正な居宅介護支援事業所の運営について
石狩支庁社会福祉課介護保険係長 西澤 靖宏 氏
- 9月20日 市民公開講座
「我慢しないで—介護保険利用者の不満・苦情—」
西円山病院在宅ケアセンター次長 奥田 龍人 氏
- 11月26日 医療機関とケアマネとの連携についてパートI
真栄病院院長 小笠原 俊夫 氏
- 1月21日 医療機関とケアマネとの連携についてパートII
美しが丘病院院長 慶松 元興 氏
- 3月17日 入所ケアマネについて

.....南区支部.....

- 5月12日 総会と研修会「南区の地域性について」
- 7月28日 神経難病の理解—キーパーソンを中心に—
国立療養所札幌南病院神経内科医長 土井 静樹 氏
- 9月 8日 対人援助における面接技法
北海道医療大学看護福祉学部 椎谷 淳二 氏
- 11月 8日 市民向けイベント「明るく老後の情報広場」
- 11月10日 みんなが納得するケアプランのたて方
北海道浅井学園大学専任講師 若狭 重克 氏
- 1月19日 痴呆の理解について
札幌市精神保健福祉センター所長 築島 健 氏
- 3月10日 地域ケアについて
北星学園大学社会福祉学部教授 大内 高雄 氏

.....西区支部.....

- 5月20日 総会と公開シンポジウム
「年老いて、一人暮らしに不安はないですか」
ケアプランに生かすリハビリテーション
—療養の方とどんなお話ししてますか—
札幌市身体障害者福祉センター
理学療法士 鈴木 英樹 氏
- 8月19日 痴呆性高齢者の心理とその症状
手稲溪仁会病院精神保健科 佐々木 信幸 氏
- 9月16日 ご存じですか？福祉情報
—インフォーマルサービス等についての知識を深めよう—
- 11月18日 施設から在宅へ
老人保健施設ひまわり施設部長 南 洋子 氏
- 3月16日 支援費制度について

.....手稲支部.....

- 4月16日 総会と研修会「高齢者を支える地域活動について」
- 6月11日 今すぐ使える移送サービス
今が旬！福祉用具追加5品目
—実際に見てみませんか—
- 8月19日 痴呆性高齢者の心理とその症状
手稲溪仁会病院精神保健科 佐々木 信幸 氏
- 10月 8日 見落としていませんか？
—介護支援専門員の大事なこと—
石狩支庁社会福祉課介護保険係長 西澤 靖宏 氏
- 2月19日 地域における高齢者虐待を考える
北星学園大学社会福祉学部教授 大内 高雄 氏
- 3月10日 確認しよう、私たち(ケアマネ等)に身近な法律
北海道大学大学院法学研究科教授 倉田 聡 氏

掲示板コーナー

日時の末尾に《※》が付いている定例会は、他区支部の会員も参加できますので、ご確認のうえ、ご参加下さい。

● 中央区支部定例会

日時▶4月19日(月)18時30分～
会場▶札幌市社会福祉総合センター
テーマ▶総会と研修会「医師からみたケアマネジャーとの連携について」
講師▶調整中
問い合わせ先▶中央区基幹型在宅介護支援センター
☎281-6113

● 北区支部定例会

日時▶①4月21日(水)18時30分～20時
②5月19日(水)18時30分～20時《※》
会場▶北区民センター
テーマ▶①総会と研修会「医療の現場と課題」
②自立支援促進のケアプラン
問い合わせ先▶北区基幹型在宅介護支援センター
☎757-6113

● 東区支部定例会

日時▶5月21日(金)18時30分～
会場▶東区民センター
テーマ▶総会と研修会
問い合わせ先▶東区基幹型在宅介護支援センター
☎741-6401

● 白石区支部定例会

日時▶5月14日(金)18時30分～
会場▶白石区民センター
テーマ▶総会と研修会「2015年の高齢者介護と介護支援専門員の課題」
講師▶北星学園大学社会福祉学部助教授 島津 淳 氏
問い合わせ先▶白石区基幹型在宅介護支援センター
☎861-6116

● 厚別区支部定例会

日時▶①4月20日(火)18時30分～
②5月11日(火)18時30分～《※》
会場▶厚別区民センター
テーマ▶①総会と研修会「不適切事例について」
②研修会
講師▶①西円山病院在宅ケアセンター次長 奥田 龍人 氏
問い合わせ先▶厚別区基幹型在宅介護支援センター
☎895-6101

● 豊平区支部定例会

日時▶①4月 8日(木)18時30分～20時《※》
②5月13日(木)18時30分～20時
会場▶豊平区民センター
テーマ▶①ボランティアについて
②総会と研修会
問い合わせ先▶豊平区基幹型在宅介護支援センター
☎815-6108

● 清田区支部定例会

日時▶5月19日(水)18時30分～
会場▶清田総合庁舎大会議室
テーマ▶総会と研修会
問い合わせ先▶清田区基幹型在宅介護支援センター
☎885-6109

● 南区支部定例会

日時▶5月11日(火)18時30分～
会場▶南区民センター
テーマ▶総会と研修会「実地指導について」
講師▶石狩支庁社会福祉課介護保険係長 西澤 靖宏 氏
問い合わせ先▶南区基幹型在宅介護支援センター
☎582-6104

● 西区支部定例会

日時▶5月18日(火)18時30分～
会場▶西区民センター
テーマ▶総会
問い合わせ先▶西区基幹型在宅介護支援センター
☎614-6105

● 手稲区支部定例会

日時▶4月7日(水)18時30分～20時30分
会場▶手稲区民センター
テーマ▶総会と研修会「食の自立支援事業について」
問い合わせ先▶手稲区基幹型在宅介護支援センター
☎695-6113

編集後記

☆本会も早いもので、今年の秋で丸5年を迎えます。研究大会と合わせて記念大会も予定しておりますので、こういう内容にしてほしいとか、誰の話が聞きたいという意見がありましたら、是非、事務局までお寄せ下さい。
☆情報誌と一緒に会費の請求を入れさせて頂きました。期日まで、納入下さいませようご協力お願いいたします。自宅の住所等変更になる人は、必ず同封の変更届も忘れずに送付してください。
☆3月、4月は、送別会や歓迎会など、お酒を飲む機会も多いと思います。適量のお酒はストレスの解消に最適ですが、飲み過ぎると新年度早々出鼻をくじくこととなります。気をつけましょう。
☆札幌市でも介護給付適正化対策事業を実施しておりますが、今回は事業の概要を紹介しましたが、詳細については機会を見て情報提供できればと思います。(志明)